

ドラフト：必ず英文を参照してください。

PENTETATE ZINC TRISODIUM
(静脈内、吸入)

消費者のための詳細な医薬品情報™

商標名/入手可能な剤形

■ 一般的に用いられる商品名：

米国において

■ 市販されていません。

†

■ 米国およびカナダでは市販されていません。

分類

治療的分類：

■ 重金属キレート剤

この薬の用途

■ PENTETATE ZINC TRISODIUMは、プルトニウム、アメリシウムまたはキュリウム等の有害物質を体内から除去するために用いられます。

■ PENTETATE ZINC TRISODIUM は、医師の処方によってのみ入手できます。

この薬を使う前に

■ 薬を使うことを決める際に、薬の使用の危険性は利益と比較した上で考慮されなければなりません。このことは、あなたとあなたの医師による意思決定のうえでおこなってください。この薬においては、以下のことを考慮する必要があります：

アレルギー

■ 今までにこの薬または他の薬に対して、何らかの異常やアレルギー反応を示したことがあるならば、医師に話してください。また、食品、染料、防腐剤または動物に対して、何らかのアレルギーがあるときは、医師や薬剤師に話してください。非処方薬（一般用医薬品）については、ラベルまたは添付文書を注意深く読んでください。

小児

■ 小児への PENTETATE ZINC TRISODIUM の使用と他の年齢層への使用との比較をしている詳しい情報はありますが、この薬を注射するとき、成人に投与する場合と異

なる副作用や問題が起きることは予測されません。

高齢者

- 多くの薬は高齢者においては特に検討されていません。従って、必ずしも若い人たちと同じように作用するか、また高齢者において異なる副作用や問題を起こすかどうかは不明です。高齢者への PENTETATE ZINC TRISODIUM の使用と他の年齢層への使用との比較をしている詳しい情報はありません。

妊婦

	妊娠カテゴリー	解説
全ての妊娠時期	B	「動物実験において胎仔に対しての影響は認められなかったが妊婦に対する適切な研究はなされていない」または「動物実験で有害な作用が認められているが、妊婦に対する適切な試験で胎児への危険性が証明されていない」

授乳婦

- 授乳期間中にこの薬を使用した場合における乳児への危険性を明らかにするための女性における適切な試験はなされていない。授乳期間中に、この薬を投与する前に、潜在する危険性に対する有益性を比較考慮してください。

薬との相互作用

- 特定の薬と一緒に使用しないでください。その他の場合、たとえ相互作用が起こるかもしれないとしても、2つの異なる薬が一緒に使われるかもしれません。この場合、医師が用量を変更したり、他の注意が必要とされるのかもしれません。他の処方薬または非処方薬（オーバー・ザ・カウンター [OTC]）を使用する場合は、医師や薬剤師に相談してください。

食べ物/タバコ/アルコールとの相互作用

- 特定の薬は、相互作用が起こるかもしれないので、食べ物または特定の食べ物を食べる時間やその前後に使用しないでください。特定の薬と飲酒や喫煙は相互作用を起こす原因となるかもしれません。食べ物や飲酒、喫煙とこの薬の使用については医師や薬剤師に相談してください。

他の医学的問題（他の疾患がある場合）

- 他の医学的問題の存在は、この薬の使用に影響を与える可能性があります。あなたが他の医学的問題がある場合は、医師に必ず相談してください。特に：
 - 喘息:PENTETATE ZINC TRISODIUM の吸入投与により悪化することがあります。
 - 腎障害：体内から除去可能な有害物質の量が減少することがあります。

この薬の適正使用

- 有害物質は、あなたの膀胱に蓄積するかもしれません。従って、尿の流れを増やして

あなたの膀胱がこれらの有害物質を含む時間を減少させるために、PENTETATE ZINC TRISODIUM による治療中、有害物質を除去するのを助けるために、医師はあなたに多くの水分を摂取して、頻繁に排尿するように指示するかもしれません。

投与量

- この薬の投与量は患者ごとに異なります。医師の指示またはラベルに表示される指示に従ってください。次の情報は、この薬の平均投与量についてです。あなたの用量が異なっている場合、医師が指示しない限り、用量を変更しないでください。
- 用量は、薬の強さに依存します。また、1日の投与回数、投与間隔、薬を使用する期間は、薬を使用する目的である医学的問題に依存します。
- 吸入剤：
 - 有害物質中で呼吸している人において、有害物質の除去を助けます。
 - 成人—1 g を 1 日 1 回
 - 小児—医師が用法・用量を決定します。
- 注射剤：
 - 有害物質中で呼吸以外の経路から暴露されている人において、有害物質の除去を助けます。
 - 成人—1 g を 1 日 1 回
 - 小児—14mg/kg を 1 日 1 回、最大 1 g を超えないこと

この薬を使用中の注意

- 他の人々または環境への放射線汚染を防ぐために：
 - 小使用便器の代わりに通常のトイレを使うこと
 - 使用の都度、数回トイレを流すこと
 - どんなこぼれた尿も、ティッシュで完全に清掃し、それを洗い流すこと
 - 小便または大便の後、石鹼で完全に手を洗うこと
 - 尿、糞便または血液で汚された服とリンネル類は、直ちに洗濯すること；他の衣類と分けて洗うこと
- 咳で吐き出されるどんな固形物も、のみこむことを避けてください。シンクまたはトイレに固形物を処分してください。トイレに処分するなら数回流し、処分後に石鹼で手を徹底的に洗うことによってシンクを流してください。
- 小児の尿、糞便、咳ではき出された物質に対しては、介護者または子供への更なる暴露を避けるために、特別な注意が必要です。
- あなたが授乳婦であれば、粉ミルク (formula feed) を与えなくてはいけない期間や有害物質を含んでいる母乳を処分する方法について、医師に相談してください。

この薬の副作用

- 必要とされる作用とともに、薬はいくつかの望まれない作用を起こすことがあります。これらの副作用の全てが起こるというわけではないですが、副作用が発現した際には、治療を必要とするかもしれません。
- また、薬は身体に作用するので、薬を使用した後、数ヶ月または数年経って起こるかもしれない他の望まれない作用を起こす可能性があります。これらには、ある種の癌（例えば白血病や膀胱ガン）が含まれるかもしれません。これらの可能性のある影響についてあなたの医者と相談してください。
- 通常治療を必要としない副作用が起こるかもしれません。これらの副作用は、あなたの身体が薬に適応して、治療中起こらないかもしれません。また、あなたの医師や薬剤師は、これらの副作用のいくらかを防止するか減らす方法について、あなたに話すことができるかもしれません。以下の副作用のいずれかが続くか厄介な場合、あるいはそれらについて質問があるとき、あなたの医師や薬剤師と一緒にチェックしてください。
- *発生頻度不明*
 - 咳；頭痛；めまい；骨盤痛；喘鳴
- リストに載っていないその他の副作用が一部の患者に起こるかもしれません。あなたが他の作用に気が付いたならば、あなたの医師や薬剤師と一緒にチェックしてください。
- 副作用について医師の医学的助言が必要な場合は、医師に電話してください。そして 1-800-FDA-1088 で FDA に副作用を報告してください。